



# 南十字星



## 2020年度 第12号

令和2年 10月 3日

クイーンズランド補習授業校

ゴールドコースト校

校長 直塚 裕典

E-mail: jschoolgc@jsgc.org.au

### 第3学期が始まります。新たな気持ちでスタートしましょう!



短い春休みが終わり、第3学期が始まりました。大きな事件や事故に巻き込まれたという報告がなく、子ども達が安全に春休みを過ごし、自分の命をしっかりと守ってくれたことが一番嬉しいです。また、ご家族の方から見られて、お子さんが春休みに何か継続して頑張ったことがあればほめてあげてください。ちなみに校長先生は、毎日散歩を1時間して足腰を鍛え、健康づくりに頑張りました。

これは4月頃の桜の写真です。新学期の頃を思い出すと、オンライン等によるサポートでしたが、いろいろなことに挑戦しようという「やる気」がいっぱいだったと思いますが、そんな気持ちが少しずつぼんやりしていませんか。



「どうせ無理だ」「自分なんかにはできないわけない」などと考えて、何かに取り組む前からもうあきらめてしまうようなことはありませんでしたか。昔、武者小路実篤という人がいました。たくさん詩や小説を書きました。その作品の中に「生長」という詩があります。読んでみます。木の上の方にある一つの枝のことが気になって仕方がなかったのです。しかし、それはとても高い所にある枝です。「どうせ自分には届きはしない」と早々とあきらめてしまっていたのでしょうか。でも、やってみるものです。もう一度ジャンプしてみたのです。そうしたら、今度は楽に手が届いたのです。最初からあきらめていたら、せっかく届く距離になっていたことさえ分からないままになってしまっていたことでしょうか。みなさんは 毎日成長しています。今までできなかったことができるようになってきているかもしれません。みなさんの3学期の活躍を心から期待しています。まずは、目標を立てましょう。校舎内では、消毒やソーシャルディスタンスの励行等を繰り返し指導しながら、学習内容の遅れがないように努めていきます。これから暑くなるので体調管理にも気をつけなければなりません。

日本では、少しずつ涼しくなってきましたが、まだまだ台風の季節でもあります。今後とも補習校の子ども達のためにご協力のご理解のほどよろしくお願いいたします。

### 「ステーキがジュウジュウと音を立てていたら、それだけでおいしそう」

杉村 啓氏は、しょうゆや日本酒に造詣の深いライターです。人は料理や酒を純粋に舌だけで味わっているわけではありません。見た目や香り、食感も重要で、ステーキの焼ける音のように、聴覚さえ影響を与えます。さらに、杉村氏はおにぎりも箸を使うより手で食べた方がおいしく感じるという。人間は五感のすべてを使って「味」を判断しています。しかしこれは味覚に限った話ではありません。例えば、人間の好感度についても同じことがいえるでしょう。私たちが誰かを「いい人」と感じるとき、判断基準になっているのは人柄だけではありません。人間の印象は、服装や身ごなしや声など、様々な要因の組み合わせによって決まってくる。多少の欠点はあっても、どこかに「ジュウジュウいっている部分」があると、好感度がぐっと上がります。人は誰も自分の好感度を高めたいと思います。しかし、他人の魅力に敏感になることも大切です。人には個性があるから、ジュウジュウの人だけではなく、ホクホクの人でもアツアツの人でもプリプリの人もあります。そうした味の違いを楽しむグルメになることも人生を豊かにするのではないのでしょうか。

## 前向きな性格で早期復帰！ ～リスタート 池江 璃花子さん～



昨年12月に退院した際、池江璃花子さんは体の衰えが顕著だった。発病前は日本記録を連発するトップスイマーただけに気落ちしてもおかしくないが「普通に生活していることが幸せ」と、持ち前の前向きな姿勢を失わずに早期復帰への道を歩んだ。

今年1月、かつて通った東京都江戸川区のスイミングスクールの交流会に出席し「立ってるのがきつい」といすに座って旧知の人々が泳ぐ様子を見守った。その後の食事会で「胃が小さくなっちゃった」と、何種類もあった好物をなかなか口に運べなかった。

退院直後は体重が10キロ以上落ち、たくましかった肩周りは明らかに細くなっていた。それでも小学校時代に師事した清水桂コーチに「はけなかったジーパンがはけるようになった」とあっけらかんと話すなどポジティブさは変わらなかった。別の知人との会食には自ら車を運転して参加。入院中とは違う「普通」の生活ができる喜びをかみしめた。

その中で、まず取り組んだのが筋力トレーニングだった。退院当初は懸垂ができず、腕立て伏せも膝をついて数回できる程度。プールでの練習を再開した3月ごろには懸垂を4回、腕立て伏せを10回こなせるように。佐々木トレーナーは「水の中でしっかり泳げるようになって、めきめきと良くなった」と証言する。

悲観的にならずに地道に積み重ねた努力が想像以上に早いカムバックにつながった。(佐賀新聞朝刊より)

## 今後の学校行事等について (お知らせします)



現在、運動会を延期にしていますが、年度当初から、縮小してでも学校行事を開催する方向で進めていきたいという強い思いをもっていました。補習校にとっての学校行事は、日本の学校文化が体験できる貴重な機会であり、大切な位置づけであることを理解しております。子ども達に貴重な経験をさせられるよい機会でもあります。補習校の教職員や運営委員会の運営委員の皆様も私と同じように運動会や補習校祭りなどの学校行事を開催したい思いを強くもっておられます。しかしながら、コロナウイルスの影響で人数制限やソーシャルディスタンスなどの規制が実施されていますので、今後のコロナウイルスに関する規制次第ではありますが、12月までには補習校祭りを含む学校行事等の開催の有無についてお伝えします。

## 仁科先生、ありがとうございました！ そして、お世話になりました！

6年生の奈良先生が2学期にコロナウイルスの影響で州越えができず、急遽、仁科由起子先生に無理を言って、6年生の授業等を見ていただきました。とても大変な時期に来ていただき、感謝いたします。あがとうございました。10月1日から奈良先生の地区も通行書が発行できる地域になり、第3学期から補習校での授業が可能となり、それに伴い仁科先生がご退職となりますのでお知らせいたします。

## 校長の赴任予定について (お知らせ)



私の赴任に関しましては、ブリスベン総領事館の皆様をはじめ、安藤日本人会会長様等のご尽力のおかげで無事に豪州の入国許可が出て、ビザが発給されました。派遣に大きく前進しているところで、現在は代理店を通しフライトの確保を行っている段階です。今後、文科省からの最終派遣決定日の連絡を待つのみとなりました。豪州での2週間の隔離を経て、早ければ11月上旬には待ちに待った補習校へ勤務できそうです。子ども達や保護者の皆様にお会いできるのを楽しみにしておりますので、よろしくお願いいたします。